

福井の基幹産業を支えている「ものづくり技術」。伝統工芸の熟練の技、こだわりを追求した技など、さまざまなジャンルから福井の「スゴ技」をご紹介します新コーナーです。県内のものづくりの心意気を感じてください。

## 「漆の精製」 有限会社辻田漆店 [tujita.co.jp](http://tujita.co.jp)

越前市朽飯町で150年以上の歴史を持つ、漆製造・販売の同社。原材料にこだわり吟味した天然漆のみを使用し、生漆から精製するという全国でも数少ない企業です。その良質な漆を求めて、輪島、山中、飛騨高山など全国の高級漆塗りの産地から注文が舞い込みます。その中でも「手グロメ」と呼ばれる製法で精製された漆は、そのやわらかさと刷毛伸びの良さで全国の塗り職人を虜にする極上の逸品。一部の愛好家を除き、同社の他にこの製法を続けるメーカーはほとんどなくなったとのこと。その技を見せていただきました。

### スゴ技



### 「手グロメ」

濾過や「ナヤシ」と呼ばれる工程を経たのち、生漆に熱を加えながら攪拌し、ゆっくりと水分を飛ばしていく「クロメ」作業。乳白色の生漆が徐々に濃い鉛色に変化していきます。通常は自動攪拌機で仕上げるところを、クロメ鉢（直径1m超の木製削り出し）に入れた生漆を櫓でひとかきずつ回し、ゆっくりと熱を加えていく「手グロメ」。夏場は天日を熱源に、3～4時間付きっきりという重労働です。漆の状態を見定めながら時間をかけて精製することで、伸びの良さと塗りの高さを両立し、機械製の漆では生まれない、玄人好みのマットな仕上がりにつながること。

スゴ技の様子を動画で公開中！

F-ACTのHP ([www.fisc.jp](http://www.fisc.jp)) から  
または、こちらのQRコードからご覧ください



乳白色の生漆。業界全体の97%は中国産とのこと。同社では、貴重な日本産の漆は全て手グロメで仕上げています。



古くからの道具が並び作業場内の様子。産地としての歴史を感じる佇まいです。



顧客のオーダーに合わせて漆を精製し全国へ発送。日本の漆工芸を陰で支えています。



安心安全な天然素材である漆の良さを活かし、玩具の製造も手掛ける同社。写真の積み木は2014年にグッド・トイに認定されました。

有限会社辻田漆店

所在地：越前市朽飯町22-24

電話：0120-77-1034